



大阪子どもの貧困

アクショングループ

団体概要

Child Poverty Action Osaka

(CPAO/シーパオ/C=Child/子ども、パオ=包む、モンゴルの移動式住居、家)

◆大阪子どもの貧困アクショングループとは？

- 大阪母子の象徴的な2事件、2010年「西区2児放置死事件」・2013年5月の「北区母子変死事件」を受け、「悲劇を繰り返したくない！」と子ども支援関係者を中心に有志が集まり団体を立ち上げました
- 調査を中心に、実態・ニーズを踏まえ、親丸ごとサポートすることで親子の生活を安定させたいと活動している
- 子どもが歩いて行ける距離に一つ、子どもが駆け込める場所の必要性を感じ、「まずは、ごはん！」から「つながり・支えあう」関係づくり、コミュニティづくりへと展開している

日本の子どもの貧困 ※相対的貧困率とは、家庭の所得が、標準的所得の半分以上になる世帯の割合を指す

17歳以下の子どもの貧困率は16.3%（2012年）に達し、1986年の調査開始以来、過去最悪

※全体の貧困率16.1%を上回り、3年前より0.6%悪化

母子世帯の貧困

ひとり親世帯の貧困率54.6%と突出している。3年前より10万以上増加（出典）2013年国民生活基礎調査 厚労省

◆ 目的

私たちの目的は子どもの貧困をなくすこと。見えにくい子どもの貧困を明らかにするために子どもや家庭の生活を調査し、子ども・親・周りのおとなをサポートしていきます

◆活動 1：短期 「しらべる・みつける・つなげる」 ※みつける→ **ほぐす(問題・心)** →つなげる

①しらべる <調査>

- ・2013年7月～2014年12月「シングルマザーたち100人がしんどい状況について話しました」
- ・2015年度10月～(予定)「子どもの暮らしの調査(大阪市生野区)/アンケート&ヒアリング

②みつける <アウトリーチ>

※英語で手を伸ばすという意味。本来サポートが必要な人に必要なサポートが繋がっていない現状に対し、支援者側が積極的に手を差し伸べること

- ・夜回り/天神筋橋商店街、生野区・・・
- ・その他、調査、メディア、広告...

「助けて！」って言ってもええんで！

③つなげる <相談・コーディネート> (面談&メール、SNSなど活用)

- ・行政・民間サービスにつなぐ、窓口への同行

④ほぐす <介入・直接支援> (母子サポート) ※心、問題を解きほぐす(介入)

- ・相談・介入/一緒に問題を乗り越える

◆活動 2：中期 養育の社会化モデル事業 <キーワード：わくわく！＝生きる希望>

- ①CPAOくらぶ/力を持ち寄って面白いことをしよう！「多様な人との出会い・機会提供」生野/大阪市、丹波市
- ・親子の居場所/ごはん会・子どものニーズによる部活・イベント、キャンプなど。多様な人との出会いや機会提供
- ②月1 お父さん/民間の養育里親・・・

◇他団体との連携

- ①彼岸寺「お寺おやつクラブ(月1)」/調査フォローアップ、ゆるい見守り&緊急食糧発送
- ・子どもの居場所、学習支援、シングルマザー支援団体など含め、順次拡大
- ②大阪社会保障協議会/協働・大阪弁護士会/共催
- 「シングルマザーサポートブック」・「シングルマザーと子どものサポーター養成講座」

◆活動 3：長期 政策提言

- ①2014年8月 子どもの貧困アクション関西 「自治体で国の対策よりもさらに良い施策を！」
- ②2014年12月 衆議院選を前に「子どもの貧困解決に向けた共同声明」を
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと発表
- ③2015年7月子どもの貧困対策 政策パッケージに関する提言をあすのぼと提言
- ④2015年7月来年国連で開催される「女性差別撤廃委員会」に全国精神病患者集団とカウンターレポートを提出

<お問い合わせ先> 大阪子どもの貧困アクショングループ：徳丸

事務所：〒544-0025 大阪府大阪市生野区生野東3-13-3 / 松野農園内

HP：<http://cpao0524.org> e-mail：info@cpao0524.org Facebook：<http://www.facebook.com/cpao0524>